

**信州大学学術研究院人文科学系 [助教]**  
**(主担当：人文学部)**  
**公募要領**

**1. 公募の趣旨・背景**

信州大学人文学部では、文化情報論・社会学コースの専任教員（社会学系研究室）を下記の要領で公募いたします。つきましては、適任と思われる方がいらっしゃいましたら、ご応募な  
らびにご推薦くださいますよう、関係者の方々に周知方お願い申し上げます。

**2. 職名・人員**

助教（任期なし） 1名

**3. 所属学系**

信州大学 学術研究院 人文科学系

**4. 主担当学部等**

人文学部 文化情報論・社会学コース

**5. 研究分野**

社会学

社会学を専門として（領域は問わない）、現代社会にかかわる諸問題を研究対象に、主に質  
的なアプローチから研究を行っている方。ただし、量的なアプローチにも通暁している方が望  
ましい。具体的には以下の指針をもとにします。

- 1) 現在の文化情報論・社会学コースの専門研究室（認知心理学、情報コミュニケーション  
学、計量・数理社会学）と研究・教育上の共通性を持ちながら、完全には重複せず、かつ、  
それらの領域と研究・教育上の連携ができる方。詳細は学部ホームページ内公募情報ページ  
にある「文化情報論・社会学コースのコンセプトと専任教員に期待するもの」をご覧ください。
- 2) 学生たちと協同して、地域との連携も視野に入れたフィールドでの調査研究活動を展開  
できる方。
- 3) 社会調査士資格認定に関わる授業科目の一部を担当可能である方。

**6. 職務**

〔学部専門教育科目〕

「社会学概論」「社会学特論」「社会学発展演習」「社会学基幹演習」「社会学基礎実習」  
「社会調査実習」など

〔共通教育科目〕

「新入生ゼミナール」の他、全学対象の一般教養科目など

〔大学院科目〕

※ 大学院の授業科目も担当していただく予定です（「文化情報論社会学総合演習」「社会学  
実践演習」「社会学研究」など）。

〔大学運営・学部運営等〕

入試に関する業務、学部内・全学の各種委員会の業務。

## 7. 応募資格

- 1) 博士の学位を有する方、もしくはそれと同等の能力を有する方
- 2) 社会学の研究経験・専門的知見があり、それに基づく教育・研究を実施できる方
- 3) 採用後は、松本市またはその近郊に居住でき、学生教育に熱意のある方
- 4) 入学試験業務をはじめとする大学運営・学部運営の業務に参画できる方
- 5) 日本語で講義・学生指導ができる方

## 8. 採用予定日

2026 年 4 月 1 日

## 9. 待遇

給与：国立大学法人信州大学の規定に基づく年俸制

(国立大学法人信州大学年俸制適用職員給与細則第 4 条及び第 5 条適用)

勤務地：信州大学松本キャンパス（長野県松本市旭 3-1-1）

勤務形態：常勤、裁量労働制

社会保険等：文部科学省共済組合、雇用保険加入

このほか、国立大学法人信州大学の規定に基づきます。

## 10. 提出書類

### 1) 教員調書

所定の様式、写真貼付。末尾に記載した学部ホームページ内の公募情報ページから様式をダウンロードし、ご使用ください。記載例を参考にご記入下さい。なお、主要な業績 3 点の番号に○印をつけ、その概要については、記載例に示す 200 字程度ではなく、各 600 字程度記載してください。また、外部資金の獲得実績や申請状況等についても記載してください。

専門社会調査士の資格を有する場合は、認定番号と認定年月日を調書に必ず記載してください。

### 2) 著書・論文などの全業績の現物もしくはコピー

刊行・掲載がすでに決定している未公表の業績がある場合、発行元の証明書類を付けてください。可能であれば、単著の書籍を除く全業績（共著の書籍の担当部分、単著論文と共著論文等）について電子データ（PDF）に変換したものを、CD・DVD もしくは USB メモリにまとめて提出してください。ただし、電子データの提出の有無は、審査には関係ありません。

### 3) 本学部の「理念・教育研究目標」及び「文化情報論・社会学コースのコンセプトと新任教員に期待するもの」に則った、教育研究に関する抱負（1000 字程度）。

「理念・教育研究目標」と「文化情報論・社会学コースのコンセプトと新任教員に期待するもの」は、末尾に記載した学部ホームページ内の公募情報ページをご参照ください。

### 4) 上記の担当予定授業科目のうちから「社会学概論」と「社会学特論」の 2 科目のシラバス（授業計画）。

「社会学概論」は、主として専攻コース未決定の学部一年生を対象とした導入となる概論講義科目です。社会学の基礎に関する講義のシラバスを立案ください。

「社会学特論」は、主にコース所属や関連領域を専攻する学部二年生以上を対象とした専門の講義科目です。応募者の専門研究領域に関する講義のシラバスを立案ください。

シラバス作成に際しては、末尾に記載した学部ホームページ内の公募情報ページからリンクしている過年度シラバスをご参照ください。

5) 社会調査士科目担当経験に関わる一覧表

社会調査士カリキュラムのA～G科目について、これまでの担当経験科目と担当可能科目を表形式にまとめ、担当経験科目については有・無及び年度・大学・科目名を、担当可能科目については可・否を記してください（それ以外の表記はしないでください）。社会調査士カリキュラム以外の同等の科目を担当した経験がある場合は、表の欄外に簡潔に担当状況を説明してください。

1)～5)の資料については、冊子になっているもの以外はできるだけ（ホチキス等を使用しないで）クリップで止めてください。

11. 応募締切

2025年7月31日（木）17時（必着）

12. 選考方法

第一次選考（書類審査）を経て、第一次選考合格者に対して第二次選考（面接及び模擬授業）を予定しています。

※ 信州大学は男女共同参画を推進しており、業績等（研究業績、教育業績、社会的貢献ほか）および人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし、これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

13. 書類提出先

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1-1 信州大学人文学部長 宛

※ 封筒に「文化情報論・社会学コース専任教員応募書類」と明記し、配達記録が残る方法（書留郵便、宅配便等）でお送りください。

※ なお、持参する場合は平日の9時から17時までの受け付けとします。

14. 問合せ先

信州大学人文学部人文学科文化情報論・社会学コース 教授 菊池 聡

電話：0263-37-3239

E-mail: jkoubou01@shinshu-u.ac.jp

15. 信州大学および人文学部のホームページの URL

- ・ 信州大学  
<https://www.shinshu-u.ac.jp/>
- ・ 信州大学人文学部  
<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/>

16. その他

- ・ 信州大学では、研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究補助者制度やメンター制度の導入による研究環境の整備を行っています。特に、女性研究者支援として、新規採用の女性教員（常勤）に研究費を支援する「スタートアップ研究費支援」や、育児・介護休業等から研究活動に復帰した際に研究費を支援する「リスタートアップ研究費支援」を実施して

います。また、教職員のワーク・ライフ・バランスの推進として、学内保育施設運営、ベビーシッター派遣事業割引券の配付、大学入学共通テスト等における一時保育など男女共同参画へ積極的な取り組みを行っています。

- ・ 信州大学では、極めて優秀な若手研究者に「Rising Star 教員」の称号を授与し、手当の支給、早期昇進機会を付与するなどの優遇措置を行うことで、最先端の研究を牽引するトップレベル研究者を養成する制度を設けています。
- ・ ご提出いただいた書類は、審査終了後速やかに返却いたします。また、ご提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、本選考以外の目的には使用いたしません。
- ・ 本公募に関する情報は、学部ホームページ内の公募情報ページに、ダウンロードできる様式と記載例を掲載しております（URL：<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/recruit>）
- ・ 面接に際しての旅費等は応募者本人の負担となります。
- ・ 教員調書の賞罰・処分歴等欄に、前科及び懲戒処分歴がある場合は記載してください。該当事項がありながらそれらを記載しない場合は経歴詐称とみなす場合があります、採用取消や懲戒解雇等に繋がる可能性があります。